

青山地区 市政懇談会資料

平成30年11月17日

市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	なか た かず ひこ 仲 田 一 彦
副 市 長	おお にし ひろ し 大 西 浩 志
副 市 長	ごう だ ひとし 合 田 仁
教 育 長	にし もと のり ひこ 西 本 則 彦
総合政策部長	やま もと よし ふみ 山 本 佳 史
総務部長	あか まつ ひろ あき 赤 松 宏 朗
市民生活部長	ほり うち もと よ 堀 内 基 代
健康福祉部長	いわ さき くに ひこ 岩 崎 国 彦
産業振興部長	よし おか まさ とし 吉 岡 雅 寿
都市整備部長	ます だ ひで なり 増 田 秀 成
上下水道部長	やす ふく あき ひろ 安 福 亮 博
議会事務局長	し みず さと し 清 水 悟 史
消 防 長	ふじ わら ひで ゆき 藤 原 秀 行
教育総務部長	いし だ ひで ゆき 石 田 英 之
教育振興部長	おく むら ひろ や 奥 村 浩 哉

地区からの意見・提言

青山地区

※市政懇談会で意見交換を行う意見・提言

	意見・提言の内容	回答者
1	デイサービス、多世代交流施設と青山公民館北側空地利用について	健康福祉部長
2	青山地区の公共交通(路線バス、循環バス)利便性改善	都市整備部長
3	若い世代の増加策と青山7丁目の開発について	都市整備部長
4	緑が丘東幼稚園存続と方針について	教育振興部長
5	災害時の援護体制についての新しい取組	危機管理課長
6	生活道路の通り抜け車対策	都市整備部長
7	緑が丘駅前開発について	都市整備部長
8	青山地区内に派出所の設置	市民生活部長
9	みつきい夏まつり開催地変更について	市民生活部長
10	市政への一般意見	(10-1)総合政策部長 (10-2)都市整備部長 (10-3)産業振興部長 (10-4)総務部長

※その他の意見・提言

	意見・提言の内容	回答者
11-1	公民館活動をさらに活性化させる	—
11-2	三木市にいかにか若い人を呼び込むか	—
11-3	三丁目山際の防犯灯が暗い	—
11-4	青山7丁目フェンス沿いの歩道の除草	—
11-5	幹線道路、歩道の整備	—
11-6	三木市の生産年齢人口減少に対して	—
11-7	神戸電鉄の存続について	—
11-8	大木の伐採や枝打ち	—
11-9	地域福祉について	—
11-10	家庭ゴミ排出量減量化の提案	—
11-11	高齢者、住民のウォーキングへの整備	—

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	1	デイサービス、多世代交流施設と公民館北側空地利用について（青山自治会連合会）
<p>(内容)</p> <p>青山地区では、高齢者支援、子育て支援など社会福祉の充実が住民にとって優先度が高くなっており、まちづくり協議会においてもそれぞれの検討部会を設置し、具体的な活動を行っている。</p> <p>そこで、デイサービスセンターと多世代交流センターを兼用した施設を公民館北側空地に要望する。</p> <p>要望理由</p> <p>①青山地区は、今後、急速に高齢化が進むことが想定され、地区内にデイサービス施設が必要である。また近隣の施設「ひまわり」などにおいても、近年、定員を満たす状況が続いている。</p> <p>②元気な高齢者や母親達、子ども達が自由に交流できる空間を併せ持つことで、青山だけでなく、緑が丘、自由が丘そして志染町を含む人的交流を促進し、三木市東部の地域活性化の核としたい。</p> <p>③青山公民館の利用者が多くなっており、自由なロビー利用の児童、生徒、学生等のために新たな場所を提供したい。</p> <p>④公民館北側空地は、駐車場の確保、路線バスの利用、各学校への距離などの面で、立地条件が整っている。</p>		
回答	<p>(担当課) 健康福祉部介護保険課 市民生活部市民協働課</p>	
<p>デイサービスセンターの利用者は、個々のご自宅から施設まで事業者が送迎しサービスをご利用いただいていることから緑が丘地区に加え、新たに青山公民館北側空地に施設を建設する必要があるとは考えていません。</p> <p>また、平成9年8月に建設したデイサービスセンターひまわりは、建設後20年が経過し入浴などの利用用途から、給湯や排水並びに空調設備が老朽化しているため近い将来において建て替えの必要があると思われます。</p> <p>については、今後緑が丘・青山地区を含めた利用人口の推計並びに</p>		

民間のデイサービスセンターなどと連携するなど、三木市の公共施設総合管理計画とも調整し、進めてまいります。

ご要望の多世代交流施設については、青山まちづくりビジョン委員会などにおいて議論されてきたところですが、青山地区には多世代が交流できる施設として青山公民館や各丁目に集会所があることから、他地区と比較しても施設は不足している状況ではないと考えており、青山公民館北側空地に新たな施設を設置する計画はありません。しかしながら、地域でのつながりの希薄化などの課題の解消に向けて、多世代交流の促進を図ることは重要と考えますので、まちづくり協議会や区長協議会などにおいて、既存施設の活用などによる多世代交流を図るための取組について意見交換を進めていただく中で、市も一緒に考えていきます。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	2	青山地区の公共交通（路線バス、循環バス） 利便性改善（青山自治会連合会）
<p>（内容）</p> <p>現在、青山の公共交通バス利用率は高くありませんが、今後の高齢者増加、運転免許返納者が増加することを踏まえ、利便性の改善の検討をお願いしたい。</p>		
回 答	（担当課）都市整備部交通政策課	
<p>青山地区と緑が丘地区を循環する「青山・緑が丘循環ルート」につきましては、平成27年10月の新設から間もないことから、停留所の増設や地域拠点経由などの経路変更により利便性の向上を図り、利用を促進する必要があると考えます。</p> <p>折しも現在、平成31年3月を目途に、本市の新たな公共交通網計画の策定を進めていることから、御意見の内容につきましては、計画全体の見直しの中で検討してまいります。</p> <p>また、神戸電鉄緑が丘駅での鉄道とバスの接続性の向上につきましては、引き続き、交通事業者と協議・調整の上、取り組んでまいります。</p> <p>次に、バス停の雨よけなどの整備につきましてはバス事業者が所管しておりますので、御提言の旨をバス事業者に申し伝えます。</p> <p>また、青山地区から三宮方面に向かう「恵比須快速線」の増便や、「西脇急行線」の青山地区経由などの運行につきましては、これらの路線が神姫バスの自主運行路線であることから、御提言の内容をバス事業者に申し伝えます。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	3	若い世代の増加策と青山7丁目の開発について（青山自治会連合会）
<p>（内容）</p> <p>青山に若い世代を計画的に入居させ増やしていき将来のまちの活性化を青山自身で図るためにも青山7丁目の住宅開発が必要と考える。大和ハウス企画部門も現時点では消極的であり、行政の施策に頼る必要があると考えます。</p> <p>7丁目の開発地に今後の学校統廃合を考え、子供福祉施設等の建設を提案する。</p>		
回答	（担当課）都市整備部 都市政策課	
<p>青山7丁目の大和ハウス工業所有の未利用地につきましては、現在大和ハウス工業により、多世代にとって魅力あるまちづくりを検討されているところです。</p> <p>市としましても、大和ハウス工業より譲り受けることになっています土地の有効活用を、青山地域の皆様のニーズを確認しながら、大和ハウス工業が行うまちづくりと歩調を合わせて検討を進めたいと考えています。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	4	緑が丘東幼稚園存続と方針について (青山自治会連合会)
<p>(内容)</p> <p>青山に子育て世代の入居促進を図ろうとする時、緑が丘東幼稚園の平成36年廃園が大きな障害と予想されます。地域に密着した幼稚園も子ども園もなければ入居にブレーキを掛けるだけでなく、若い母親たちの地域交流発祥の場を奪ってしまうことになり、若い世代の地域活動にも影響が大きい。現在の東幼稚園のPTAである「ひまわり会」の発展が小学校の保護者活動の基礎となっていることを考えれば地域としても存続の方針を望むところです。</p> <p>現在の幼稚園の形にこだわらず、公立の幼保一体への変更であってもよし、上記の青山への若い世代入居促進と合わせ検討いただきたいのです。明確な方針がほしい。</p>		
回 答	(担当課) 教育振興部 教育・保育課	
<p>公立幼稚園、保育所の閉園については、平成27年3月に幼保一体化計画をまとめ、その後、平成28年、29年に人口や就園状況等を勘案し、必要な見直しを行ったところですが、緑が丘東幼稚園は当初の予定どおり、平成35年度末に閉園する予定です。</p> <p>また、当地域で公立園を設置する予定はありません。</p> <p>今後も、共通カリキュラムの官民の連携など、就学前教育の充実に努めます。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	5	災害時の援護体制についての新しい取り組み (青山3丁目自治会、青山連合老人会)
<p>(内容)</p> <p>(1)災害発生時の地域と学校連携について行政のガイドラインはあるのか。高齢者の支援を受ける側のリスト化や支援者は決めてあるが、助ける側のガイドラインや学校連携について協議できていない。すぐにでも検討会議を行うべきである。</p> <p>(2)災害時の要支援者援護として、支援する側の地域(自治会、老人会、民生委員)連携を新たに組織化する必要があると思うが、行政でそのガイドラインの作成や指導を行えないか。現在の自治会自主防災組織では、まず民生委員が災害時に要支援者の援護を指揮することになっているが、民生委員は女性、高齢者が多いため実質機能しない可能性が高い。また、民生協力委員や自治会役員も年度毎に入れ替わるため。</p>		
回 答	(担当課) 危機管理課 健康福祉部福祉課	
<p>(1)災害発生時には、自助・共助・公助が重要であり、それぞれが協力する体制が必要です。ご意見のとおり、現在は行政と学校と地域との連携及び協力内容についてのガイドラインはありません。</p> <p>早急に、地域の実情を確認させていただく場を設けたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。</p> <p>(2)災害時要援護者の支援をいただく組織としましては、現在自主防災組織と民生委員児童委員等で連携し、お互いに調整しながら対応されているものと考えております。</p> <p>したがいまして、新たな組織を別に立ち上げることは考えておりません。</p> <p>民生委員児童委員にあつては、高齢の方や女性の委員も多ことから、自己のできる範囲での活動とし、決して危険を冒して指揮するものではなく、各自主防災組織において役割を整理しておくことが重要ではないかと考えております。</p> <p>一方、他地区の自主防災組織からも災害時要援護者の支援に</p>		

つきまして、支援者や支援方法等について様々なご意見をいただいておりますので、ガイドラインやマニュアルとなるものの必要性は感じております。

災害時要援護者、支援者、自主防災組織、民生委員児童委員のご意見を伺いながら、作成したいと考えます。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	6	生活道路の通り抜け車対策 (青山1丁目自治会、青山5丁目自治会)
<p>(内容)</p> <p>① 青山1丁目の笠松線幹線道路に2段信号が出来て以来の1丁目の課題。 行政・地域の取り組みはあるものの、通り抜け車両が多く、周辺住民はゴミだし、車庫入れ、児童の通学において危険にさらされている。 コミュニティ道路の位置付け、進入禁止など検討しているが、警察からは「住民総意であること」の高いハードルがあり思うように進まない。市行政(道路管理責任者)として効果的な対策案をご提示願いたい。</p> <p>② 青山5丁目・南北幹線道路のコスモ石油交差点から東に入り、お食事処にしな前に抜ける車が多い。早急に対策を。</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部道路河川課 市民生活部生活環境課	
<p>① 青山1丁目の2段信号並びに、2段信号が出来たことに伴い地域内の通り抜け自動車が増えていることについては、市としても認識しています。 通り抜け自動車の対策としては、通り抜けを抑制する看板の設置等がありますが、その効果が薄いことから通り抜けの自動車が減っていないものと思慮しています。 まずは、市と地域で課題解消に向けた具体の検討を進めたいと思います。その場合、警察への相談・協議並びに地域住民の方のご理解・ご協力も必要となりますのでお願いします。</p> <p>② 平成10年にも当時の青山5丁目自治会長より要望をいただき、現地調査後啓発用の電柱幕を設置しておりますが、年数が経過していることから改めて啓発用電柱幕等を設置し運転者のマナー向上に取り組んでいきます。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	7	緑が丘駅前開発について (青山4丁目自治会、青山緑地化推進団体)
(内容)		
<p>(1) 開発の変更があったと聞いている。進捗状況について聞きたい。特に駅前西側の開発について。どのようになるのか。緑が丘駅前開発は青山にとっても重要な関心事である。</p> <p>(2) 駅前施設をより充実し、コンビニ、一杯飲み屋、立ち食いそば等サラリーマン、労働者、主婦の立ち寄りやすい地域となるよう推進してほしい。</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部プロジェクト推進課	
<p>(1) 緑が丘駅西側の土地について、開発するためには市が買収する必要があることから、市の若手職員による検討会で提案されたホテル整備案等を基に、現在、実施の可否も含め慎重に検討しており、本年度中に整備方針を決定したいと考えています。</p> <p>(2) ご意見をいただいたコンビニ、一杯飲み屋、立ち食いそば等については、人通りが多いほど充実してくるものと考えています。まずは、神戸電鉄を利用するなど、駅周辺を利用していただきますようお願いいたします。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	8	青山地区内に派出所の設置 (青山5丁目自治会、青山保健衛生協議会)
<p>(内容)</p> <p>①緑が丘、自由が丘には派出所があるが、青山地区には無く防犯面で不安がある。青山地区の中心部に設置してもらいたい。隣接の志染地区には駐在所が2箇所もあり、人口規模から勘案しても設置すべきである。警察官が常駐しなくても派出所があるだけで交通違反や犯罪の抑止効果がある。</p> <p>②青山地区には、ショッピングセンター、飲食店が増加し他のまちからの買い物、飲食に来られる方が増えている。当然交通量も多くなり、また不審者も増えてきているため住民の相談できる派出所の設置を願う。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部生活環境課	
<p>交番及び駐在所の設置については、地域警察運営規則第15条により、昼夜の人口、世帯数、面積、行政区画及び事件又は事故の発生の状況等の治安情勢に応じ、警察署が定める所管区ごとに置くものとする定められており、緑が丘交番が緑が丘・青山地区を所管しています。また、交番は原則として都市部の地域に、駐在所は原則として都市部以外の地域に設けるものとするとも定められており、配置人員等も交番は、原則として一当務三人以上の交替制の地域警察官により運用するものとされています。緑が丘交番は三木署管内では唯一、常時3人勤務体制の中核交番として即応力のある交番業務を遂行しているとのことですのでご理解願います。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	9	みっきい夏まつり開催地変更について (青山連合老人会、青山緑地化推進団体)
<p>(内容)</p> <p>青山には旧の市街地に比べて歴史的な祭りはなく、現在のみっきい夏まつりが地域交流や親子の思い出行事となっている。開催場所を変更されると、今まで地域で協力してきたことや苦勞してきたこと、そして思い入れが無駄になってしまう。開催場所を変更しようとする本当の理由を教えてください。以下の理由により、開催場所を他に変更することは反対である。</p> <p>①防災公園は、来場者の安全、駐車場の確保、会場配置を考慮すると総合的に良い。</p> <p>②変更にあたって住民へのヒアリングを実施したのか。</p> <p>③花火の打上場所について、住宅から離れており、周囲は山であるが、ため池（水利）もあるので、火災に対し安全である。渋滞はどこでも発生することを考えれば、道路幅は広く交通条件は良いと考える。</p> <p>④4号、5号玉の花火は、防災公園でしか打ち上げられない。</p> <p>⑤神戸電鉄利用においても、緑が丘駅前が広く、シャトルバス運行に安全である。</p> <p>⑥若者の参加、市外からの参加も多く、三木市のコマーシャル効果が大きい</p> <p>⑦三木市の防災公園を売りにできる。</p> <p>よって、現在の場所でみっきい夏まつりが継続されることを強く要望する。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部市民協働課	
<p>夏まつりの開催については、財政危機宣言に伴い平成21年度から休止しておりましたが、三木市の元気アップ、ふるさとへの愛着や誇りづくり、地域の活性化等を目的に、「みっきい夏まつり」として平成24年度に再開し、7年が経過しました。夏まつりの開催に当たっては、青山地区や志染地区の皆様にご多大なるご協力をいただいておりますことを厚くお礼申し上げます。</p> <p>三木総合防災公園での開催については、当時の市民アンケートや</p>		

花火の打上環境、市民まつりとしてのステージ及び総踊りの場所の確保、駐車場等を総合的に判断し、以前の美囊川河川敷から三木総合防災公園に変更されたという経緯があります。実際に、花火は最大5号玉を打ち上げることができ、会場も広いので、来場者の安全も確保できています。

しかしながら、現在の防災公園での開催について、数多くの市民の方から次のようなご意見もお聞きするようになってまいりました。

- ①交通渋滞やシャトルバス運行に時間が掛かることで、会場に行くのが難しくなっている。
- ②市街地の賑わいや活気づくりに効果があがっていない。費用対効果の検証が必要である。

そこで、みっきい夏まつり実行委員会で検討部会を立ち上げ、開催場所の見直し等について、協議を進めてまいりました。

開催場所の見直しに際しては、実行委員会において、市民にアンケートを行って意見を聴いてはどうかという提案もありましたが、各市民協議会から実行委員を選出いただくことにより、地域住民の意見を反映させながら検討を行いました。

なお、他の候補地では現時点で想定される危険予測に対し、来場者及び周辺住民の安全確保に課題があることから、来年度の「みっきい夏まつり2019」は、引き続き三木総合防災公園で開催することに決定しました。再来年以降の開催場所については、引き続き検討してまいります。

今後も皆様に楽しんでいただける夏まつりとなるよう、内容や費用の削減等について検討してまいりますので、引き続き周辺住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	10-1	市政への一般意見 (青山自治会連合会、青山緑地化推進団体)
<p>(内容)</p> <p>昨年度は多くの市事業が白紙となり、新たに都市計画をベースとした三木市総合計画が策定中と聞いておりますが、どういうビジョンの下で検討されているのか、途中経過の開示はあるのでしょうか。市民活動団体への4年目以降補助金廃止、敬老祝い金の減額提案、健康保険税の一般会計からの補填廃止、公民館の市民協議会活動への関与縮小案など市民生活や活動と直接関係する事案の制限ばかりが先行しており、住民からは、「何をやっとするんやろな、何もわからんな…」など、一部に生活への心配、行政への不安の声も出ております。</p>		
回 答	(担当課) 総合政策部 企画政策課	
<p>次期三木市総合計画は、「誇りを持って暮らせるまち三木」を基本方針として、今後10年間のまちづくりの方向性を示すものとして策定に取り組んでいます。今年度は、庁内での議論に加え、この度の市政懇談会や8月末から実施した市民アンケート、これから予定している市内の高校生や関西国際大学の学生から意見を聞く若者ミーティングなどを開催し、多くの声を聞きながら素案の策定を進めているところです。さらに、素案ができた段階で、各地域ごとにもう一度、市民の皆さまの声を聞く場を設けたいと考えておりますので、ご参加のほどよろしくお願い致します。</p> <p>また、様々な事業の見直しを実施しておりますが、これは今後も続く人口減少・少子高齢化社会において、負担の公平性や今後のまちづくりの方向性を勘案し実施したものですので、ご理解のほどお願い致します。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	10-2	市政への一般意見 (青山自治会連合会、青山緑地化推進団体)
<p>(内容)</p> <p>スマートインターチェンジの計画はどうなっているのか。設置されれば三木市より小野市への効果が高いと予想するが、小野市は費用をもつのか。</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部プロジェクト推進課	
<p>三木スマートインターチェンジは、昨年度、国により準備段階調査※箇所を選定され、現在、国、県、市、NEXCO 西日本(株)による準備会において、ルートの検討等を行っているところです。</p> <p>このスマートインターチェンジは、三木市、小野市双方に効果が高いと考えられるため、小野市へは、準備会の参画を求め、その会議の中で費用負担などを協議していく予定です。</p> <p>※ スマートインターの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	10-3	市政への一般意見 (青山自治会連合会、青山緑地化推進団体)
(内容)		
三木市の観光、観光産業への取組はどのようになるのか。ネスタリゾートは三木市の観光に貢献しているか。		
回答	(担当課) 産業振興部 観光振興課	
<p>三木市は優れた交通道路網に恵まれるとともに、大規模な公園もあり、三木金物・山田錦などの地域ブランド、葡萄や苺、黒豆などの特産品といった観光振興に必要な要素が豊富にあります。</p> <p>これらを活かし観光客を増やすことで、三木の魅力の発信や経済効果をもたらせ、地域活性化に繋がる観光振興をめざしており、有効なPR戦略、地域が潤う仕組みづくりを進め、観光産業を確立したいと考えております。</p> <p>なお、ネスタリゾートについては、プールやグランピングなどが人気を集める中、さらに新たなアトラクションを増設され、大変多くの方々が来られています。</p> <p>このように民間活力のみで新たな観光名所をつくり、多くの観光客を呼び込み、地域経済、雇用においても三木市への貢献は大変大きいと言えます。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	10-4	市政への一般意見 (青山自治会連合会、青山緑地化推進団体)
(内容)		
三木市歌について、知っている人はほとんどいない。イベントなどでも使用されていない。なぜ広めないのか理由が知りたい。		
回答	(担当課) 総務部総務課	
<p>現在、三木市教育委員会と三木市合唱連盟主催の三木市民合唱祭をはじめ、市内の小学生を対象とした連合音楽会や成人式においても三木市歌を合唱する機会を設けています。</p> <p>三木市歌については、市のホームページにも歌詞や音声データを掲載しておりますことから、今後も、様々な市のイベントで市歌をPRしていく機会を増やせるよう、庁内各課に対して呼びかけてまいります。また、歌詞やテープの貸し出しについては、市民にもPRしてまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-1	公民館活動をさらに発展させる (青山2丁目自治会)
<p>(内容)</p> <p>青山公民館、緑が丘公民館は地域の財産である。古い都市では見られない公民館を中心にした活動には目を見張るものがあります。年配者が自分の経験を活かしたボランティア活動で充実した日々を送る姿、共に学び、時間を過ごす人たちの姿、若いお母さんたちが子どもといっしょに楽しむ姿など、これからの日本のあるべき姿をこの町が先取りしているのです。特に青山公民館はまちの中心に位置し、設置当初から地域と行政が一体となり、まちと共に発展し、またまちを発展させてきました。この関係をさらに発展させ元気な青山を維持して行きたい。</p>		
回答	(担当課) 教育振興部 生涯学習課	
<p>三木市では市立公民館を市内10地区に設置しており、それぞれの地域の実情に添って活動しております。青山公民館は、平成5年4月に開館し、これまで青山地区の住民の皆様と共に地域づくりを進めてまいりました。また、社会教育施設として地域住民の方々の「学び」や「集い」の拠点となり、生きがいつくり、仲間づくりを支援してまいりました。</p> <p>今後も、公民館は、住民の方々が互いに思いやり、だれもが暮らしやすい地域づくりに努めてまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-2	三木市にいかにか若い人たちを呼び込むか (青山2丁目自治会)
<p>(内容)</p> <p>三木市活性化には、いかにか若い人たちを呼び込むかであると考え る。そのためには他の市町村にない、思い切った子育てのしやすい 制度、財政援助をすべきである。</p> <p>このための無駄な補助金（神戸電鉄）や協賛金は廃止していけば 良い。また高齢者への各制度、財政援助は三木市全体では行き渡っ たのではないかと考える。</p>		
回 答	<p>(担当課) 総合政策部企画政策課 都市整備部交通政策課</p>	
<p>三木市の活性化のためには、次世代を担う若者たちが魅力を感じる まちづくり・住まいづくりが欠かせないものと考え、他の市町村 に先駆けて、0歳から2歳児半額、3歳から5歳は無料化など保育 料助成や中学3年生まで医療費の無償化を行うなど、子育て支援の 充実や定住促進支援制度などにも取り組んできたところです。</p> <p>しかしながら、現状では日本全国の自治体が同じような子育て支 援の充実を掲げ、子育て世代という限られたパイの取り合いを行っ ているような状況になっていると懸念しております。これからは、 競争から共存の視点に立ち、子どもが増える環境を如何にして創り だすのかを考え、市として独自性のある施策につながるように検討 を行ってまいります。</p> <p>また、神戸電鉄（粟生線）は本市にとって唯一の鉄道で、通勤、 通学等の市民生活を支える移動手段としての役割はもちろんのこと、 地域間の交流拡大やまちのにぎわいを促す動脈として、更には、 大規模災害時における他路線の代替機能の役割として、広域的なま ちの在り方からも必要不可欠なものとして認識しております。このため、 市民の皆様による利用促進と併せ、引き続き、鉄道の維持・存続に 積極的に取り組んでいく必要があると考えます。</p> <p>加えて、これまで三木市や日本の発展に貢献されてきた高齢者の 皆様に、これからも元気に活躍していただくための支援については、 今後も引き続き「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現のなかで、</p>		

実施していきたいと考えております。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-3	3丁目山際の防犯灯が暗い (青山3丁目自治会)
(内容)		
<p>3丁目は東側が長く山と接しているが、現在設置している防犯灯では夜間が暗く、安全ではない。防犯灯の容量を上げるか、大型のものを設置出来ないか。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部生活環境課	
<p>本市では平成23年度から防犯灯を蛍光灯タイプからLEDタイプへの取替を推進してきました。市が現在指定しているLED防犯灯は従来の蛍光灯タイプに比べて、消費電力は少ないうえ照度は明るいとの評価をいただいています。防犯灯は数が多いため1灯あたりの維持管理に要する負担を低く押さえる必要があります。したがって、市では当面、機種を変更したり大型器具を指定機種に加える予定はありません。</p> <p>山際で暗いということであれば、設置間隔を短くすることが考えられますが、費用負担が伴いますので十分ご検討いただき、増設する場合は申請いただきますようお願いいたします。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-4	青山7丁目フェンス沿いの歩道の除草 (青山5丁目自治会)
<p>(内容)</p> <p>青山7丁目のフェンスに囲まれた敷地内の雑草の中は、ゴミ捨て場となっているため、定期的に除草し、きれいにしてほしい。またフェンス沿いの歩道にも背の高さほどの雑草が伸びており、歩道の舗装をやりなおすか定期的に除草をお願いします。</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部 用地管理課	
<p>フェンス内の土地の除草については、状況を見ながら土地所有者に定期的な除草等の依頼をおこないます。また歩道につきましては、状況を見ながら除草作業を実施します。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-5	幹線道路、歩道の整備 (青山6丁目自治会、青山連合老人会)
(内容)		
<p>(1) 青山の生活道路舗装は5年計画で昨年完了したと聞いているが、幹線道路の傷みは大きく、陥没やひび割れ、表面やせなど補修の必要がある。三木市の整備計画を知りたい。</p> <p>(2) 各丁目の歩道、遊歩道に木の根などによる不陸がある。優先順位を決めて、早めの手当を実施いただきたい。高齢者のつまづきが発生しています。</p> <p>(3) 青山3丁目28-12前の道路十字路に大きな割れが多数ある。ここは、水道、ガス、污水管などが地下に埋設されていると思われるので早めの対策を願う。</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部 道路河川課	
<p>(1) 緑が丘のコープから青山中央公園までの幹線道路について、舗装が傷んでいることは認識しており、11月中(25日頃)に青山中央公園からイオン付近まで舗装補修工事を予定しています。今後も、幹線道路について傷みの状況を確認しつつ舗装修繕を進めてまいります。</p> <p>※青山地区の幹線道路の舗装補修については、概ね5年間で完了したいと考えています。</p> <p>(2) 歩道の根浮きは、歩行者の安全性において大きな問題であると認識しています。</p> <p>今後、先ずツリーサークル(街路樹の根元を覆う鋼板)の撤去を進めたいと考えており、その後に部分的な伐木や浮いた根の処理など、適切な樹木管理を行ってまいります。</p> <p>(3) ご提言をいただいた場所を確認したところ、傷みが著しいため、早期の補修が必要と判断し、緊急業者に依頼を致しました。間もなく工事に取り掛かりますので、ご協力をお願い致します。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-6	三木市の生産年齢人口の減少に対して (青山6丁目自治会)
(内容)		
<p>三木市はこの問題に対してどのような考えがあるのか、市内の労働人口を増やすための工場や会社の誘致は展開されているのか。</p>		
回答	(担当課) 産業振興部 商工振興課	
<p>生産年齢人口減少の最も大きな要因は若者の転出です。そのため、定住していただくインセンティブを高めることが重要であり、最優先すべきは市内事業所の99%以上を占める中小企業を振興し、市内経済を活性化することが必要であると考えます。</p> <p>そこで、市では果敢に挑戦する中小企業がさらなる発展に向けた競争力を強化するため、革新的な取組による高付加価値化や生産性向上に必要な設備投資を支援しています。</p> <p>市内で創業や新たな事業を展開しようとする方々が夢や希望に積極的にチャレンジできる環境を整備し、魅力ある多様な働く場を創出する企業を支援しています。</p> <p>ご提言をいただきました新たな雇用の創出には企業誘致も重要であると考えます。しかし、現在誘致可能な大規模な土地がないため、現在は、県に対して、ひょうご情報公園都市の2期分譲地の開発について、要望しています。この、計画が実現することにより、企業誘致が進み、雇用の創出と労働人口の増加を図ることが出来ると考えております</p> <p>市内に新設または増設する企業に対し、工場等新設助成、雇用助成、水道・電気料金助成を継続して支援して行くことで、市内産業の振興と市民の雇用促進を図ります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-7	神戸電鉄粟生線の存続について (青山連合老人会)
(内容)	<p>青山地区にとって神戸電鉄粟生線の存続は必要不可欠です。 また、神戸電鉄緑が丘駅発着と青山・緑が丘循環ルートとの連携などについての検討委員会を立ち上げてはどうか。</p>	
回答	(担当課) 都市整備部交通政策課	
	<p>三木市に隣接する神戸市や小野市と異なり、神戸電鉄粟生線は本市にとって唯一の鉄道で、市の交通網の根幹となっております。 このため、市といたしましても、まちの将来を考えた場合、粟生線は何としても死守しなければならないと考えており、引き続き、粟生線の更なる活性化と利用促進を図り、維持・存続に全力で取り組んでまいります。 次に、鉄道とバスの連携などについての検討委員会の立ち上げに関する御提言につきましては、公共交通網計画の策定や計画推進のための協議会（三木市地域公共交通検討協議会）を既に設置していることから、この協議会の中で検討・協議してまいります。</p>	

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-8	大木の伐採や枝打ち（青山連合老人会）
<p>（内容）</p> <p>青山1丁目から4丁目にかけて山際には電柱より高い木が茂っています。倒木すれば電線切断、民家への被害が予想されますので早めの伐採をお願いします。</p> <p>また、5丁目からイオンにかけての幹線道路歩道の楠木の並木もきれいではあるが、夜間は防犯灯の光を遮り危険となっている。早めの枝打ちを実施いただきたい。</p>		
回答	<p>（担当課）都市整備部用地管理課 都市整備部都市政策課</p>	
<p>青山1丁目から4丁目にかけての山際は緑地であり、森林を保存していく区域となっています。したがって、積極的な伐採作業等は行っていないところです。</p> <p>しかしながら、電線や家屋、道路への倒木により被害をもたらすような高木につきましては伐採等の対処が必要と考えています。市としましても巡回を行っていますが、お気づきの点がありましたらご連絡をいただけますようお願いいたします。現地確認の上、対処させていただきます。</p> <p>枝打ちにつきましては、比較的街路樹が連続している箇所について4年に一度の頻度で行っていますが、防犯灯の光を遮っている箇所などは個別に対応したいと考えていますので、夜間点検を実施していきますが、気になる場所などは用地管理課までご相談いただきますようお願いいたします</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区
意見・提言	11-9 地域福祉について（青山連合老人会）
<p>(内容)</p> <p>三木市の今後の高齢化社会への施策、支援について説明いただきたい。</p> <p>高齢者家族の通院、買い物、ゴミ出しなど有料化と地域も巻き込んだ施策、方向性について、また青山の取り組みについてアドバイスいただきたい。</p>	
回 答	(担当課) 健康福祉部 介護保険課
<p>少子高齢化が進むなか、厚生労働省は住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるため、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。</p> <p>そのなかで新しい地域支援事業として「生活支援体制整備事業」が創設され、三木市でも生活支援コーディネーターを配置し、市内10の行政区に順次、地域づくりを考える協議の場（協議体）を設置し、市民協議会や関係者、関係機関とともに、地域の課題や資源の整理を行い、課題解決に取り組んでいます。</p> <p>青山地区については、平成31年度よりスタートする計画になっています。</p> <p>(※ 三木市の生活支援体制整備事業は子ども、障がい者の方、高齢者など全世代を対象としています)</p> <p>また、地域において援助活動を依頼したい人と援助活動を希望する人がお互いに会員となって高齢者の生活について助け合う互助活動を進める中で、通院支援や買い物などの困りごとのマッチングをする「高齢者ファミリーサポート事業」があります。</p> <p>(※ 三木市の生活支援体制整備事業は子ども、障がい者の方、高齢者など全世代を対象としています)</p>	

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-10	家庭ゴミ排出量減量化の提案について (青山保健衛生協議会)
<p>(内容)</p> <p>三木市に於いては焼却場を単独で建設すると新聞報道されたが、先ずは住民のゴミ排出量の減量化も必要であると提案したい。包装紙、化粧箱などの雑紙、ビニールフィルムと紙の貼り合わせた雑紙などを集団回収で実施する。また、家庭での剪定時の枝木や葉を可燃ごみから外し、分別回収を行い、可燃ごみの排出量を減量化する。こうした減量化メリットを広く市民伝えるべきである。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部生活環境課 市民生活部環境課	
<p>三木市における古紙のリサイクルにつきましては、現在、新聞(新聞、折込チラシ)、雑誌(雑誌、本、ノート、封筒、菓子箱、包装紙、コピー用紙)、段ボールを実施しています。今回ご提案の集団回収による「包装紙、化粧箱などの雑紙」については、市が行っている古紙回収でも指定品目としており、集団回収を実施された自治会等の団体には、紙類について1kgにつき4円を奨励金として交付しています。</p> <p>なお、ビニールフィルムと紙の貼り合わせた雑紙については、市では古紙として回収できません。しかし、民間の古紙回収業者で取扱いをしている場合は、集団回収の品目に加えていただければごみの減量につながります。</p> <p>また、家庭からの剪定時の枝木や葉については、可燃ごみとして焼却処理しています。しかしながら、市内一斉清掃と学校清掃時での剪定時の枝木や葉については、一時に大量に収集できることから、業者に委託して堆肥化しています。今回、家庭からの剪定枝や葉を可燃ごみから外して、新たに分別収集し、活用してはどうかのご提案については、枝木や葉を保管管理できる施設と場所の確保が困難なため、対応することができません。</p> <p>市としましても、ごみの減量化は、大変重要と考えていますので、ご提案以外にも、ごみの減量化できる取組みができないか検討したいと考えています。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	青山地区	
意見・提言	11-11	高齢者、住民のウォーキングの整備 (青山保健衛生協議会)
<p>(内容)</p> <p>早朝、夕刻にウォーキング、ジョギングされている健康志向の住民が増えています。青山地区においては東側に防災公園があり施設、環境、距離的条件が良く、多くの方がエンジョイされています。この防災公園ルートとなるのは関西国際大学前歩道、青山3丁目遊歩道ですが残念なことに両ルートともに防災公園まで防犯灯の点灯はありません。</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部生活環境課	
<p>関西国際大学前歩道については、県道平野三木線との交差点までの間で防犯灯を整備しており、夜間は点灯しております。</p> <p>また、青山3丁目からビーンズドーム奥に抜ける遊歩道については、県立三木総合防災公園の敷地及び管理となっています。</p> <p>ご要望を受け、公園の管理事務所に確認したところ、公園の利用時間が原則午前9時から午後5時30分となっており、公園としては夜間のウォーキング及びジョギングでの遊歩道の利用を想定していないため、遊歩道の街灯は夜間に点灯させていないとのことでした。(夜間に公園の利用がある場合は、必要な箇所のみ点灯しています。)</p> <p>防犯灯については通勤や通学、買い物等の日常生活上の利用頻度が高い道路への整備を目的としており、ウォーキングやジョギングを主たる目的として利用している道路等に市が防犯灯を整備する計画はありません。</p>		